

婦負の野



ISO9001 認証取得
〒930-0143
富山県富山市西金屋6682番地
社会福祉法人めひの野園
TEL.076-436-0270
発行責任者 中田 匡
(表題書)
高岡市中川上町3の31
(故) 社浦 获水先生



飛騨市の合併に市議会議員として尽力された石田さん(写真左)。現在は「飛騨流葉牧場」スタッフの一員として、飛騨地鶏生産に携わっておられます

念ずれば思いは届く

流葉牧場を福祉の拠点に

2004年、古川町、神岡町、河合村、宮川村が合併し、新たに飛騨市が誕生いたしました。

この合併には少なからず私も関わり、生みの苦しみを否応なく体験しました。それと同時に、もう一つの生みの苦しみが始まったのです。それは、飛騨市が県に依頼し、「飛騨地鶏」という食肉鶏ブランドを立ち上げるというものでした。そこには2つの生産組合が生産に関わることになりましたが、飛騨地鶏は「平飼い生産方式」のため管理経費が高むこと、「食鳥処理場」の確保、そして「価格面での市場開拓が進まない」という三重苦に悩まされ続けてきました。

その後、一組合は解散を余儀なくされ、私を含めた友人6人の組合「飛騨地鶏研究クラブ」だけが継続してまいりました。当時私達が考えていたのは、一連の食鳥供給事業を「飛騨の特産品」として、福祉事業とコラボできないかということでした。

丁度そのような折、福祉事業の運営に経験豊富な「めひの野園」からお話をいただき、私達が思い描いていた施設の建設と、障がい者の雇用場の提供できる環境を創出していただきました。福祉施設は居住地に近く、利用しやすい環境が必須条件であり、この「飛騨流葉牧場」が今後ともこの飛騨地域の核となることを願っています。

勤務出勤の際にはいつも、「早期に素晴らしい福祉施設ができた」と感慨に耽っている老人であります。

石田 隆司(元飛騨市議会議員)

カケル 飛騨流葉牧場×？

開設から1年。
飛騨流葉牧場は「掛け算」で面白くなっていく！



食鳥処理に関しては、「よりきれいな食鳥処理」を目指し、そのスキルを高めてきました。その甲斐もあって、ある時外部企業から食用アヒルの処理の依頼がありました。普段扱っている地鶏とは大きさも異なるため苦労しましたが、丁寧な作業を心掛け、良い評価を頂くことができました。その企業はブロイラーの生産も手掛けており、今後はブロイラーの食鳥処理を受託することで、さらなる事業拡大を目指すのではないかと考えています。

2019年1月に「飛騨流葉牧場」が新事業所として開設し、お陰様で1周年を迎えました。
この1年、飛騨流葉牧場は様々なことに挑戦し、そしてその度に多くの学びがありました。
そんな私たちのこれまでの取り組み、そして、そこから見えてきた今後の課題についてレポートします。

流葉牧場×新たな事業

新事業所の開設に伴い、飛騨流葉牧場には「食鳥処理施設」が整備され、これによって飛騨地鶏の「生産」「加工」「販売」までを事業所内で行うことが可能になり、「六次産業化」が実現しました。

流葉牧場×山之村牧場



処理したアヒル肉で作った「鴨南蛮」ならぬ「アヒル南蛮蕎麦」は絶品でした！

ソーセージやハム、ベーコンを製造している「山之村牧場」の名を聞いたことがある方も多いのではないでしょうか。その「山之村牧場」と「飛騨流葉牧場」のコラボレーションが実現しました。



「飛騨地鶏の手羽の燻製」はお酒のつまみにぴったりの一品。

「飛騨地鶏」は主に串焼き用に加工していますが、手羽先や手羽元といった部位が残ってしまうことがこれまでの課題でした。そこで、「山之村牧場」のノウハウにより、桜のチップでスモークした「飛騨地鶏の手羽の燻製」が商品化されました。先日開催された販売イベント「ハーティとやま」でも多くのお客様の手に取っていただき、大変好評でした。

流葉牧場×農福連携

飛騨流葉牧場で事業に携わっている中で見えてきたのは、この地域が抱える農業に関する課題です。飛騨では昔から農業が盛んで、トマトを始めとする農産物は飛騨の特産物になっていました。しかし、現在は「空き家」ならぬ「空きハウス」が増えています。それだけ担い手不足が深刻になっているのでしよう。私たちはこのような課題解決の一助になりたいと思ひ、地元農家の方に飛騨地鶏の生産を部分的に協力してもらおうとすることで、「地域創生」を進めていきたいと考えています。

私たち「飛騨流葉牧場」は、周囲の方々の力をお借りすることによって事業を展開し、「足し算」ではなく、「掛け算」で面白くなっています。今後も地域の課題に向き合い、そして地域貢献を目指して歩んでいきたいと思ひます。

(飛騨流葉牧場管理者 堀 宏一)

めひの野園

祝！ 成人

今年めひの野園では2人の利用者さんが成人されました。新しい門出を迎えた2人を紹介します。

作業センターふじなみ

あらた ゆう だい 新 祐大さん



培地の搬入や、椎茸のバック詰め作業等、色々な作業を頑張っています

ウォーム・ワークやぶなみ

まき いし じゅん 牧石 純さん



鶏卵・堆肥部門で、卵の保護シートを採寸し、カットする仕事を頑張っています

中曽根康弘元首相を偲んで



来園された際、利用者が作った陶芸作品を手に取りられる中曽根元首相

ある時、茶人であるN氏から、全生庵に5個のお盆が送られてきました。このお盆は当時のめひの野園で作られた物で、昭和59年に北陸銀行五福支店で展示されていたお盆が、たまたまN氏の目に留まったのでした。そして総理が座禅にいられた時、数百もの名器の中から当園の利用者が作ったお盆が選ばれ、抹茶が点てられたのでした。

中曽根元首相は「これは実に豪快な人間味あふれた茶盤ですね」と感心され、「今度、富山に行く機会があれば、是非この園に寄って来ますよ」とお話しになりました。その後の交流のきっかけになったのです。

総理官邸を訪問

昭和60年10月8日、総理官邸への訪問が実現しました。同年9月22日に富山市の護国神社で「チャリティー茶会」を開催し、その売上を難民救済金として役立ててほしいと、利用者さん達が

作った藤細工や革製品と一緒に手渡したのでした。

ついに来園される時が

昭和61年6月には、選挙の地方遊説のために来県された中曽根元首相と、富山第一ホテルで再会するなど交流は続き、昭和63年8月20日、ついにめひの野園へ来園されることになりました。

過密スケジュールの中、体育館で挨拶と記念撮影、そして交流のきっかけとなったお盆が作られた「雷鳥工房」へ。「この人たちの作品は素直でいい。おじさんも作ってみるけど、こんなには出来ないよ」と優しい言葉をかけてくださり、利用者さん達と握手をされました。僅かな時間ではあったものの、そこにいた全ての人にとって忘れられないひと時になりました。中曽根元首相、素敵な交流をありがとうございました。どうぞ安らかに休みください。

(記・広報委員会 岡崎 秀徳)

きっかけとなった「一皿の縁」

東京都台東区谷中に「全生庵」といって、禅の修行道場として明治16年に建てられたお寺があります。中曽根元首相は総理に就任されて以来、毎週このお寺で座禅をされていたそうです。



富山第一ホテルでの一コマ



首相 難民救援金です

首相官邸での一コマ。この様子は当時の新聞や、テレビのニュースで全国放送され話題に



梨の木の下、慈愛に満ちた表情で利用者と握手される中曽根元首相

群竹

muretaka

めひの野園職員の雑感コーナー



春の苑 堀 悦子

「温泉より病院連れてって」——76歳の誕生日に母が言った言葉だ。

喜寿の祝いにと娘三人で温泉旅行を予約していたのだが、祝いの日は二転、5年続いた自宅での闘病生活に終止符を打つことを、母が自ら決断する日となった。

私が実家で母と暮らすようになったのは、5年前、母の病気が発覚した時だった。8年前に父が亡くなり、一人で暮らしていた母の食事や通院など諸々のことを心配していたことだったが、遠方に嫁いだ姉2人からは、「うまいこと言って、またすねかじる気やる。」などと言われた。というのも、自分では自覚がないのだが、三姉妹の末子である私は、どうやら人懐っこい性格で、口がうまく甘え上手らしい。母いわく、姉達の口癖は「お父さんもお母さんも悦子には甘すぎる！」だったそう。そういわれれば、その頃の私の口癖は「すねかじりも親孝行のうち」だったような気がする。

あれから5年。今私は、そのたっぷりとかじつたすねをチャラにすべく、姉達よりも少し詳しい介護の知識を活かして、母と最期の時を過ごしている。薬のせい、一日中うつらうつらとしている母。それでも細く小さくなった手をさすると、うつすらと目を開けてくれる。きつと私の顔を見てこう思っているに違いない。(お母さん、もう逝くからね。しっかりせんにや〜最後まで頼りない娘だったが、母が私にしてくれたことに感謝しつつ、今度は私が母として二人の息子たちにしつかりと返していこうと思う。

めびの野園の今日のニュースと明るい明日を紹介します!

あしたのめびの

第15回

販売促進委員会

～利用者さんの工賃向上のために～



「販売活動によって、利用者さんの工賃向上や、職員のやり甲斐や充実感に繋がっていきたい」と話す岩城委員長

めびの野園には、職員によって編成された11の委員会があり、それぞれの課題に取り組んでいます。

今回は、高品質で魅力ある製品を販売し、工賃向上に繋げるために取り組んでいる販売促進委員会の岩城聡委員長に話を聞きました。

Q めびの野園のパンや干し椎茸といった商品の食品表示が変更され始めたようですね。

— 2020年4月1日より、新たな食品表示が義務化されます。それに伴い、当園でも食品を扱う各事業所に呼びかけ、順次、定められた表示に変更しているところですよ。

私たちが普段の買い物では、「原料はどここの産地の物を使用しているか」、「国内産か、外国産か」といったことを気にしていると思います。食品の安全性への関心が高まっている今、新しい食品表示のルールに従って、栄養成分や原料の原産地、

アレルゲンなどがしっかりと表示されることなどが、お客様の安心感につながるのではないのでしょうか。

Q 販売活動にはどのようなものがありますか？

— 販売促進委員会は、様々なイベントに出店し、商品を販売しています。また、障害者の社会参加および自立を目指している「富山県社会就労センター協議会県セルプ協」の活動にも積極的に関わっています。その取り組みの一つである「ハーティとやま」では、「販売ブースを工夫する」、「試食や試供品を充実させる」といっ

たことを意識して、売上を伸ばしてきました。また、販売員には商品説明のマニュアルを用意し、お客様に商品の特徴をしっかりと伝えられるようにしています。私も自身も旅先での土産物売り場では「参考になることはないか」と常にチェックしてまいります(笑)。



「ハーティとやま」のめびの野園の販売ブースは、限られたスペースを有効活用し、多くの商品が見やすく陳列されている

Q 今後ますます商品販売の充実が期待されますね。

— めびの野園では、利用者さんの「出来ること」「得意なこと」「好きなこと」を仕事に繋げることをモットーに支援を行っています。より多くのお客様に、私たちの商品を手に取っていただき、利用者さんたちが一生懸命働く姿を思い浮かべてもらえたらと思います。そして、めびの野園が積極的に商品販売に取り組むことで、県セルプ協の販売活動を主導し、今後ますます盛り上げていく存在になりたいと思っています。

Q、そんなめびの野園のアンテナショップ「フレンドリーショップ希望」も、どんなパワーアップしていますか？

— 2月下旬から、「ハーティとやま」に参加している県セルプ協加盟事業所の売れ筋商品を店頭と並べることにしました。今まで「ハーティとやま」の会場でしか買うことができなかった商品が呉羽の常設店でお買い求めいただけるという新たな試みによって、双方の売上向上につながればと思っています。



「フレンドリーショップ希望」に並べられたいろいろな事業所の商品

Q、今後の販売の課題と展望は？

— 今後も現状に甘んじることなく、その時代に売れる商品、付加価値の高い商品とは何かを考え、利用者さんの工賃向上につなげていきたいと思っています。また、商品の製作に携わる職員に、やり甲斐や充実感を感じて仕事をしてもらうことも大切だと思っています。作ったものがたくさん売れたほうが嬉しいですし、次の仕事が生まれますからね。

(記・広報委員会 柴田 香菜江)

「ハーティとやま」 が開催されました!



リニューアルオープンした「ファボーレ」で開催された「ハーティとやまin婦中」。
会場の大型プロジェクターでは、めひの野園のDVDが上映されました

障害者の社会参加と自立を目指して

「より多くの方々に障害者への理解を深めていただき、ひいては障害者の社会参加と自立に寄与できれば」という願いを込め、県内の大型ショッピングモールで開催されている「ハーティとやま」。今年も県内の障害者施設や事業所で作られた商品がずらりと並びました。

2月22日(土)と23日(日)に、婦中町の「フューチャーシティーファボーレ」で「ハーティとやまin婦中」が開催されました。アルプラザ小杉アピアショッピングセンターでの開催に続く、今年度3回目の「ハーティとやま」です。

県内の障害者施設、事業所から多数の出品があり、県内有数のショッピングモールである「ファボーレ」で開催されたこともあって、会場は大勢のお客様で賑わいました。

来場されたお客様からは、「この商品は本当に障害のある方が作ったのですか?」。また、試食されたお客様からは「いつも買っているスーパールの品よりもずっと美味しい」といった、この仕事に携わっている私たちにとって大変嬉しい声が聞かれました。



「おひとついかがですか?」—試食して頂き、お客様の生の声を聞けることも「ハーティとやま」を開催する意義のひとつ。

ひと昔前は「障害者が作ったもの」という触れ込みで販売されていた品々も、「ハーティとやま」が開催されるようになったことで年々商品のレベルが上がり、販売方法にも様々な工夫がされるようになりました。POPひとつをとっても「一目でお客様の目を惹くことが出来るか」、「商品を分かりやすく説明できているか」という点が重視されています。また、商品の陳列も、お客様が手に取りやすいようにと、回数を重ねるごとに改善されています。



職員がデザインしたPOPがお客様の目を惹きます

(記・広報委員会 野嶽 眞希子)

やねのうえのガチョウ



12月14日(土)、クアトロブーム小杉とココス小杉店で忘年会を行いました。カラオケグループは思い思いの歌を楽しみ、ボウリンググループはナイスプレーにはハイタッチで応え、盛り上がりました。その後みんなで夕食を食べて日頃の労をねぎらいました。

クリスマス会・忘年会特集

昨年末に各事業所で行われたクリスマス会・忘年会の様子を紹介します。なお、各事業所のクリスマス会・忘年会には、「NHK歳末たすけあい」による助成をいただいています。

春の苑



春の苑では、12月19日(木)にクリスマス会&忘年会を行いました。オードブルやケーキをみんなで食べ、最後はサンタさんがプレゼントを持って登場し、楽しいひとときを過ごしました。

ウォーム・ワークやぶなみ



12月17日(火)、ウォーム・ワークやぶなみ食堂でクリスマス会を行いました。今回は利用者さんがサンタの衣装で登場。園長からは1年間の頑張りに労いの言葉をかけてもらい、嬉しそうな利用者さんたちでした。美味しい料理を食べて楽しいひと時を過ごしました。

みしまの工房



みしまの工房では、12月12日(木)に呉羽ハイツでクリスマス会を行いました。ピザやハンバーグなど、みんなが大好きなメニューや、デザートケーキをいただきながらカラオケを楽しみ、大満足のひと時を過ごしました。



作業センターふじなみ



12月10日(火)、作業センターふじなみ食堂で忘年会を行いました。寿司やオードブルなどを美味しく食べて、カラオケを楽しみました。毎年楽しみにしている利用者さんも多く、「楽しかった」「ありがとう」の声が聞かれ、たくさんの笑顔が見られました。



「NHK歳末たすけあい」は、共同募金会を通じて国内の福祉施設や支援を必要とする方々のために役立てられています。

しいたげくん

福祉の魅力が
現場のみなさんに
突撃レポート!!

今回は、
「作業センター」
ふじなみの
しいたげハウスに
やってきました!!

ハウスは全部で
15棟もあるの!!
ここでは
菌床しいたげの
一貫生産に
取り組んで
いるんだよ。

しいたげちゃん

しいたげくん

どうもー!!
久郷です!!
何でも聞いちゃって
くださいー!!

「ふじなみ」の
職業指導員の
久郷凌さん
です!!

この発生ハウス
1棟に
約6000個の
菌床ブロックが
並んでるっす!!

発生ハウスは
現在8棟っす!!
つまり!!

えーっと、
…とにかく、
たくさんの
しいたげが、
育ってるっす!!

大丈夫かな…

ではさっそく!!
久郷さんにとって
この仕事の魅力って
何ですか?

はい!!
えーっと

えーっと…

そんなに難しい質問
したかな…

難しいことは
分らないですが、とにかく、
利用者さんと一緒に
仕事をするのが
むっちゃ楽しいっす!!

にやる

子供のころから
野球が好きで、
高校時代は
軟式野球部の
4番バッターでした。

でも「夢はプロ野球」
というほどの
実力はないことは
自覚していました。

働く喜びを利用者さんと
分かち合うことで、
自分も毎日
成長できていると
感じています。

「誰からも
親しまれる
支援員」を
目指して、
がんばります!!

いいね!!

なので、これといった夢もなかった
僕なんですけど、「めひの野園」で働く今は、
利用者さんが
仕事に取り組みやすいよう
手助けをすることに、
喜びを感じています。

大きさに言うのと
利用者さんの夢の
手伝いですかね。

寄付ありがとう
ございました。

(2019.12.1~2020.1.20) 敬称略

- 廣田 美千代 富山市
- 今井 哲治 富山市
- 富山国際大学 富山市
- 竹本 潔史 富山市
- 佐藤理容院 富山市
- めひの野園保護者会 富山市
- 扇子 一美 高岡市
- 富山大学 富山市
- (福)富山県社会福祉協議会 富山市
- 麦谷 和夫 富山市
- 中田 匡 富山市

寄付金振込口座番号
北陸銀行呉羽支店 店番号 120
普通預金 6077230
社会福祉法人 めひの野園

後援会名簿

(2019.12.1~2020.1.31) 敬称略

- 高島 三喜男 射水市
- 後援会振込口座番号
北陸銀行呉羽支店 店番号 120
普通預金 6077230
めひの野園後援会



めひの野園ホームページが
リニューアルしました!



めひの野園のホームページが新しく、
より見やすくなりました。スマートフォン
対応の他、動画再生にも対応し、トピ
ックスも充実した「めひの野園ホームペ
ージ」をぜひ一度ご覧ください

<https://www.mehino.jp/>

もしくは、検索画面で「めひの野園」
と入力してご覧ください。

来訪者

(2019.12.1~2020.2.18) 敬称略

- ソノテック・サーティファイケーションジャパン(株) 林 欽也
- 北陸フジクリン(株) 松本 弘樹
- 司法書士法人リーガルパートナーズ 山下 今朝夫
- 障害者支援施設 岐阜市立第二恵光 熊崎 秀樹
- (福)すいせんの里 宝泉 法明
- (株)損害保険リサーチ 池上 毅
- (株)ダイドードリンコ北陸 高岡営業所 定広 聡
- URSジャパン(株) 池田 辰也
- 富山テレビ放送 榊原 泰明・羽喰亜紀子
- 富山県火災共済協同組合 長森 智昭・八十島隆志
- (有)アイシシステム 杉木 靖二
- (株)富山データセンター 松原 栄悦
- 富山市議会議員 村石あつし
- (株)丸協 高口 宗厚
- 東洋ゴム北陸販売(株) 亀谷 有子
- 前田 由己
- (株)オービックビジネスコンサルタント 竹村 麻美
- 富山県農林水産部農業経営課 吉島 利則
- NPO法人ここらいふ 稲谷 暁浩
- (株)マスタック/木材会計事務所 佐藤 崇之

編集後記

2019年11月29日に中曽根康弘元
首相が101歳でお亡くなりになった。

今号では追悼の意を込め、中曽根元首
相とめひの野園との交流について紹介さ
せていただいた。日本の首相まで務められ
た方との交流であり、当園では語り草に
なっているほどの出来事なのだが、私にとっ
ては当園に勤務するよりずっと以前の出
来事なので分からないことも多い。そこで
制作にあたっては、中田園長から昔のアル
バムや、これまでに発行された広報誌が綴
られたファイルをお借りした。

「昔の広報誌は一部ずししか残っていない
ので大切に扱ってください」と渡されたファ
イルには、中曽根元首相との交流に関す
る記事にきちんと付箋が貼られていた。
本誌第8号(S60年発行)の表紙に書かれ
た、交流のきっかけとなったエピソード「翌
の行方」から始まり、本誌第10号(同年発
行)には「総理官邸訪問記」、本誌第13号
(S61年発行)の「富山第一ホテルでの再会」、
そして本誌第19号(S63年発行)「めひの
野園への来園」...と、交流の数々が描かれ
ていた。

モノクロ印刷で、紙面も今よりも一回り
小さなサイズではあるが、昔の広報紙には
当時の職員や保護者、利用者さんの思い
が溢れている。「早く原稿作成に取り掛か
らねば...」とは思っているものの、ページをめく
る手は止まらず、気づけばコピーを淹れ、
大切なファイルに「ほさないよう気を付け
ながら、中曽根元首相との交流とは関係
のない記事まで読みふけてしまった。

(岡崎 記)